



タナバタウマ

TANABATAUMA

担当 横山舞

- 寸法: 幅42.0cm × 高さ28.5cm
- 材質: ワラ
- 使用地: 宮城県加美郡加美町
(旧宮崎町)

カミけまを
乗せるんだ!



仙台の七夕行事

全国的にも有名な仙台七夕祭りは、毎年8月6日から8月8日にかけて、仙台市内のいくつかの商店街を中心に開催されます。七夕行事自体は、彦星と織姫星が天の川を渡って会うという「七夕伝説」や、技芸上達を願うという、奈良時代頃に中国から伝えられた「乞巧奠^{きっこうでん}」と呼ばれる祭りがもとになっていると言われています。

七夕の時期には、商家に限らず民家も含めて七夕飾りを立てます。手製の飾り物を竹に吊るして軒先などへ飾りますが、この飾り物に「七っ飾り」と呼ばれる7種の型が定められている点が特徴です。



- 寸法: (左) 幅49.0cm × 高さ35.2cm
(右) 幅56.4cm × 高さ34.5cm
- 材質: ワラ
- 使用地: 宮城県亘理郡



- 寸法: 幅54.6cm × 高さ40.4cm
- 材質: ワラ、糸
- 使用地: 宮城県仙台市若林区三本塚

盆行事とタナバタウマ

七夕飾りのほかにも、農家などでは「タナバタウマ」と呼ばれるワラやコモクサなどで作った馬を、家屋や馬小屋の屋根上、玄関先といった場所に供えることも行われます。この馬には、七夕さま・田の神さま・精霊さま・お盆さまなどと呼ばれる先祖の霊や農神が乗り、家にやって来ると言われています。作る馬の数は、地域によって様々です。

なお、タナバタウマの風習は東日本に広く見られます。地域によっては、この馬を田畑や野に曳いて行き、戻ってくると屋根の上に投げたり、川へ流したりしていたようです。

引用・参考

- ・伊藤優 1998 「七夕と盆」『仙台市史 特別編6民俗』 仙台市
- ・岩井宏實 2017 「たなばたうま【七夕馬】」『絵引 民具の事典【普及版】』 河出書房新社
- ・喜多村理子 1999 「しょうりょう 精霊」『日本民俗大辞典 上』 吉川弘文館
- ・仙台市教育委員会編 2010 「仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑦ 仙台の七夕飾り・仙台の竹細工」(仙台市文化財調査報告書第375集) 仙台市教育委員会
- ・吉成直樹 2000 「たなばた 七夕」『日本民俗大辞典 下』 吉川弘文館